



こども食堂情報の オープンデータ化について

こども食堂運営者さま向け説明資料

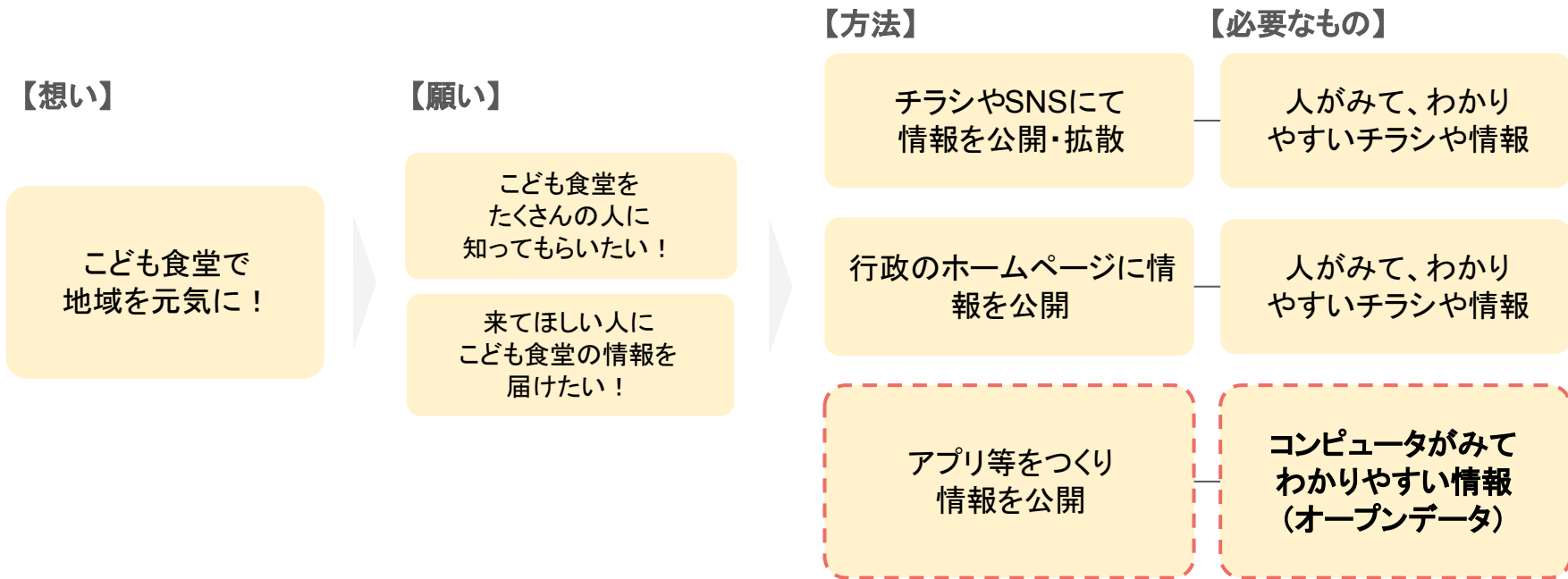
1. はじめに

こども食堂と地域を元気にするために、様々な方法が必要

こども食堂を多くの人に利用してもらうために、
チラシやホームページ掲載の他にもスマホアプリや各種サービスの開発や、利用を促すことも必要です。
そのためコンピュータが判読しやすい状態、つまり、アプリ開発者が活用できることが必要です。

これを**オープンデータ化**といいます。

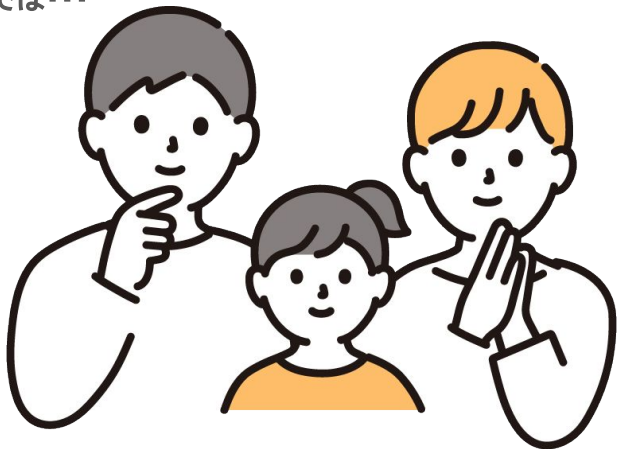
こども食堂の運営者の皆さまへの負担や手間はありません。



2. こども食堂を知るきっかけを多様に

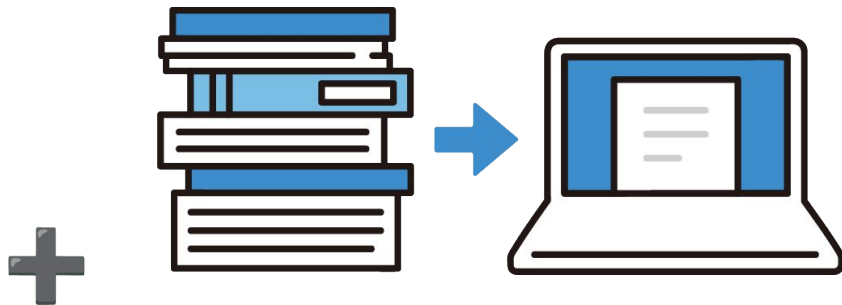
オープンデータ化により、こども食堂へ行きたい人に情報を届けたり、来てほしい人に知ってもらうための方法を多様化することができます

これまでは…



- ・チラシ、SNSやホームページをみて
- ・知り合いに教えてもらって
- ・たまたま近くを通過して
- ・イベントで出会って

これからは…



・アプリ等を利用して

公開しているこども食堂のデータをコンピュータがわかりやすい状態に変換(オープンデータ)し、その情報を使って、こども食堂に関するアプリや各種サービスの開発が進む

→アプリ開発のため、公開されているデータがコンピュータがわかる形式のものへ変換することが必要

(参考)こども食堂情報をオープンデータ化している自治体の公開例

埼玉県

神奈川県

名称	令和5年度 子ども食堂一覧
分野	健康・福祉・子育て
データ概要	神奈川県内にある子ども食堂のうち、公表の同意が得られた子ども食堂の所在地など
更新頻度	年1回
URL	子ども食堂一覧 (エクセル:174KB)

その他 (提供データ)

坂井市では、広く公共の福祉に資するものであって、各団体等から提供のあったデータをオープンデータとして公開しています。

地域の居場所等

データ名	データ概要	ファイルダウンロード	データ更新日
こども食堂	市内こども食堂の位置情報	こども食堂 (CSV : 4KB)	令和5年7月7日
高齢者サロン	高齢者サロンの位置情報	高齢者サロン (CSV : 19KB)	令和5年12月28日

坂井市

このデータは、令和5年6月15日に開催された「こども食堂オープンデータ作成ワークショップ」内団体の皆様と一緒に作成しました！

- ・県や市がこども食堂の情報をとりまとめ、オープンデータ化しつつある。
- ・「公開」においては各こども食堂の方に許可を得てから公開している。
→ 運営者の皆様の許可が必要

3. 改めて、オープンデータとは？

行政機関が保有するデータを国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用できるよう、下記のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータのことです。



1

営利目的、非営利目的
問わず二次利用可能な
ルールが適用されたもの

2

機械判読に適したもの

3

無償で利用できるもの

- ホームページ等に情報が掲載されているだけでは、オープンデータではありません。
- 情報の項目や形式を統一することで、誰もが情報を活用しやすくなります。
- また、官民データ活用推進基本法(平成 28年法律第103号)において、国及び地方公共団体はオープンデータに取り組むことが義務付けられました。
オープンデータへの取組により、国民参加・官民協働の推進を通じた諸課題の解決、経済活性化、行政の高度化・効率化等が期待されています。

3. オープンデータとは？

より具体的にご理解いただくために、「よくいただくご質問」をもとに、詳しくご説明していきます。

Q1

二次利用ってなに？



原作品・原論文・原資料などを引用・転載・コピーするなどして利用することです。その特性により民間企業や団体、個人等に様々なサービスとして利活用されています。オープンデータでは二次利用可能なルールとしてクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの表示 4.0 国際 (CC BY) を適用します。

参照：<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>

Q2

機械判読に適したデータってなに？

コンピュータプログラムが自動的にデータを利用(加工、編集等)でき、特定のアプリケーションに依存しないデータ形式のことです。

例えば、CSV(Comma Separated Values)、XML(Extensible Markup Language)、RDF(Resource Description Framework)等の形式があげられます。

3. オープンデータとは？

Q3

オープンデータにすることで
悪用されないの？



データの悪用や改ざんはオープンデータにかぎった話ではありません。
オープンデータの場合、誰でも閲覧、利用が出来るので、その存在が広く
周知されるほど、万が一改ざん等された場合、(公共団体が公開している)
元データと比較し、**オープンデータ利活用者からの改ざん等の発見の
報告が期待**されます。

Q4

自治体のホームページで
公開する情報と
どう違うの？



自治体ホームページ上に掲載されている情報は基本的にコピーライト
表記されているので、自由に利用することができません。営利・非営利、
目的に関わらず**二次利用が可能**な利用ルール (CC BY) を適用する
ことで、オープンデータになります。

4. オープンデータを公開することで期待できること

課題

各自治体や県社協のホームページに子ども食堂の情報が公開されていることは多いが、掲載されている情報が統一されておらず、更新時期にもばらつきがあり、中には古い情報がそのまま掲示されている場合もある

解決策

子ども食堂情報を **共通化されたデータフォーマット** に入力し、**オープンデータとして公開** する

「情報」を見る人にも、入れる人にも
読む機械(コンピュータ)にもやさしくなり **利活用が進む**

すべての子どもが、子ども食堂にアクセスできるための情報インフラが整う

子ども食堂だけでなく、こどもの居場所を包括した情報のオープンデータ化に取り組んでいくことが必要と考えています。

4. オープンデータを公開することで期待できること(活用例)

オープンデータを活用して、既に様々な活用例が誕生しています。

事例① 活用したオープンデータ: 浸水の深さに関するデータ
作成者: 東京海上日動

立っている場所が浸水!? アプリを開発



こちらは大阪府内のある交差点。スマートフォンのカメラでAR（仮想現実）の機能を使うと街が泥水を模した茶色い壁に覆われます。

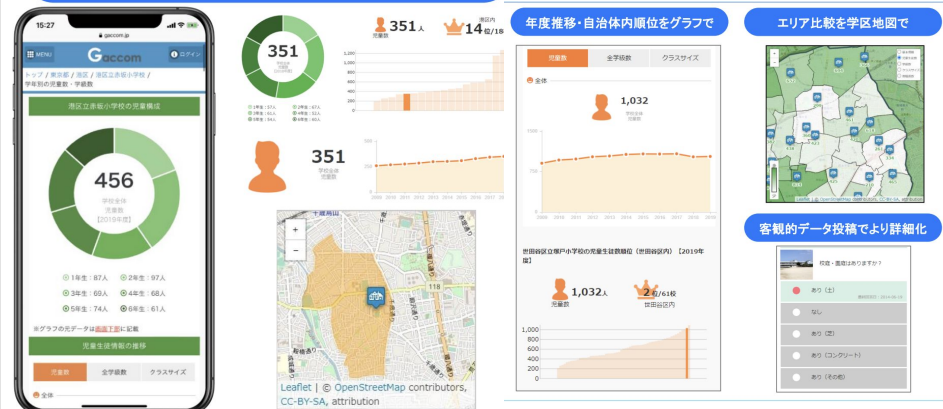
東京に本社がある損害保険会社が開発したこの無料のアプリは、位置情報を活用して「自分が立っている場所の浸水の深さ」がわかることが特長です。<https://www.nhk.or.jp/shutoken/shutobo/20230110a.html>
NHK首都圏ナビより

事例② 活用したオープンデータ: 子育て施設一覧、小中学校通学区域情報など
作成者: 株式会社ガッコム

全国の保育園・幼稚園・小学校・中学校の情報を無料で提供する、日本最大級の学校教育情報データベースサイトを開発。各学校の学区、児童生徒数、使用教科書など、客観的事実とデータに基づきリアルな学校情報を提供。

全国の学校のデータが、グラフで、地図で、
簡単にわかる、比べられる

客観的データで1人ひとりに合う学校選びを



- ①地域の学校の客観的な情報が、同一の基準と統一的フォーマットで、全国どこからでもアクセス可能となった。
- ②データはグラフや地図で視覚化され、鮮度も明確になり、学校選びのために使いやすい情報となった。

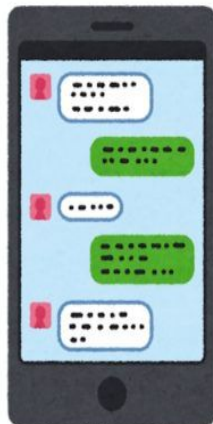
5. こども食堂情報が、オープンデータとして公開されると期待できること

埼玉県では、こども食堂情報が既にオープンデータとして公開されています。
2023年9月に開催された、こども食堂情報のオープンデータの活用アイデアを出し合うイベント「アイデアソン・ハッカソン」*を実施し、成果として下記のようなアイデアが生まれました。

①食材をあげたい人もらいたい人を、簡単にマッチングするアプリ

how many

欲しい物リストを見た新規提供者獲得
買いすぎによるロス無くす
必要な物資が必要な食堂へ届く



- ・誰でも見れる**欲しい物リスト**をつくる
- ・**あげる側、もらう側**で連絡ができるようにする
- ・誰でも使える**LINE**を活用

課題 情報がまとまっていない

②運営者自身が簡単に情報を入力 / 編集できる
こども食堂の Web マップ



*主催 : 認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
企画/運営協力: アイブリーディング株式会社
協力 : 埼玉県こども食堂ネットワーク、武蔵野銀行、LINE株式会社、サイボウズ株式会社
後援 : 埼玉県

5. こども食堂情報が、オープンデータとして公開されると期待できること

一部の地域で、オープンデータを活用し、「こども食堂 MAP」へ反映しています。

ガッコム × むすびえ「こども食堂MAP」

<https://kodomoshokudo.gaccom.jp/>



全国の自治体・県社協・地域ネットワーク団体のホームページに公開されているこども食堂情報を集めた全国マップ。全国**9132**箇所のこども食堂の**約8割**にあたる**7,108**箇所がカバーされ検索することができる。

いち早い復旧へ 災害対応システムに活用の企業

実際に、オープンデータを活用したという東京に本社がある大手コンビニチェーンを取材しました。この企業では8年前に独自の災害対応システムを開発しました。



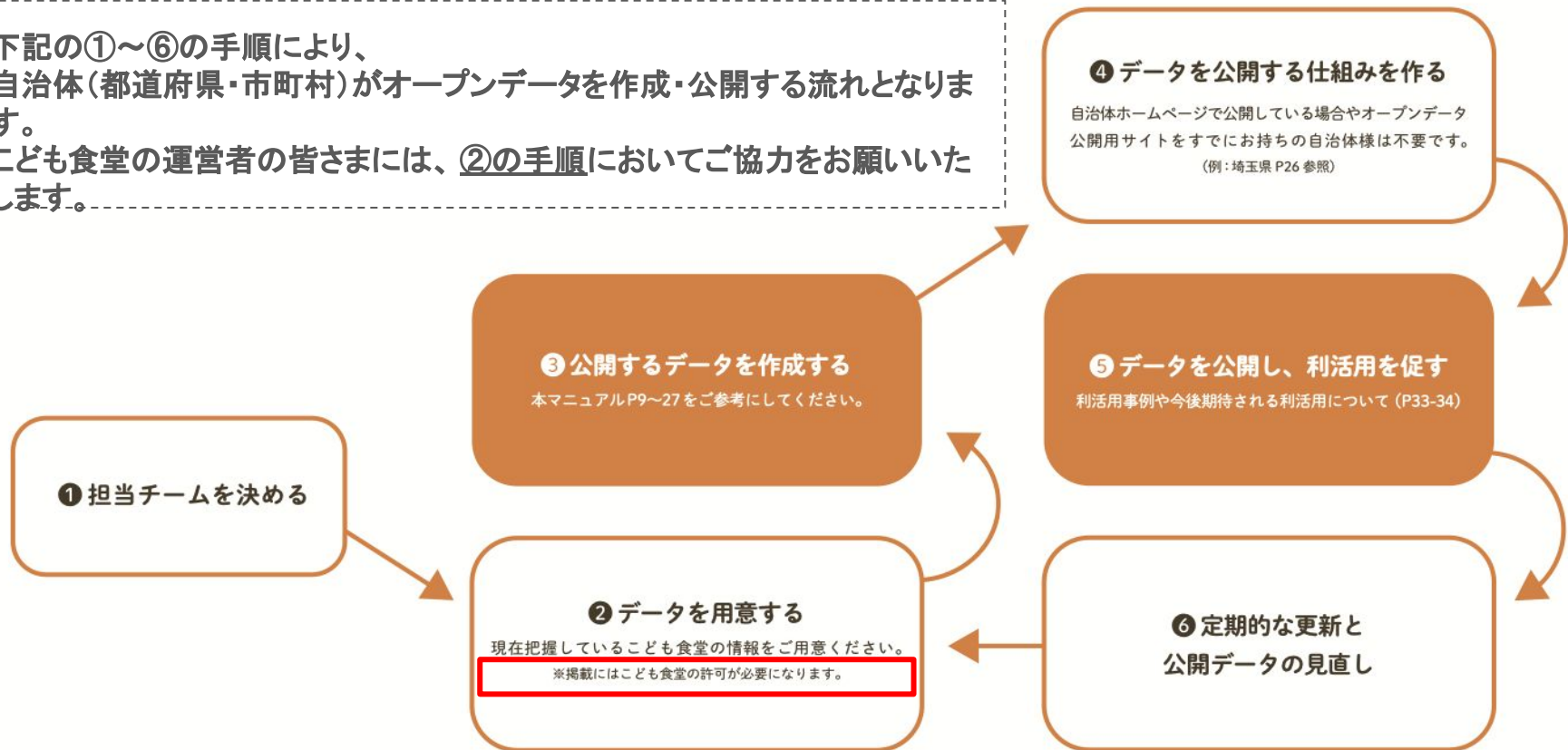
インターネット上に公開されている地図に、全国に2万余りある店舗の位置や営業情報、配送トラックのリアルタイムの移動情報などを落とし込んでいます。

その上で、例えば、水害であれば、国の浸水の深さの予測データや、浸水が継続する時間の予測データなどを組み込むことで、どの川があふれた場合に、どの店舗やどの道路が被害を受けるかが詳細に分かるようになっています。

アプリ作成のために活用したオープンデータ: 浸水の深さに関するデータ・浸水が継続する時間の予測データ
作成者: 大手コンビニチェーン

6. オープンデータ作成のための手順

下記の①～⑥の手順により、自治体(都道府県・市町村)がオープンデータを作成・公開する流れとなります。
こども食堂の運営者の皆さまには、②の手順においてご協力をお願いいたします。



※こども食堂運営者の皆さまには、掲載の可否をお伺いします。回答にご協力をお願いします。

(参考)「③公開するデータの作成」方法の一例

公開データの作成にあたり、こども食堂運営者の皆さまと一緒に
ワークショップ形式で作成した他自治体の事例。

福井県坂井市では、こども食堂運営者の皆さんにご参加いただき、「なるほどデータ作成・こども食堂編」ワークショップを開催しました。
当日作成したデータは、2023年7月7日に坂井市ホームページにて「オープンデータ」として公開されました。



(参考) ワークショップ参加者の皆さんの声

本ワークショップは、
「オープンデータって何?」「公開されたらどのように活用されるの?」
を学んだ後に、自分たちでこども食堂のオープンデータを作ってみようという企画です。

当日は、こども食堂運営者や自治体職員、社会福祉協議会議員など合計約 30名が参加されました。

まずはこども食堂の運営者の参加者の皆様自身がフォーマットにこども食堂情報を入力。

このようにオープンデータ登録をすることで、
地図が完成し、こども食堂がどこにあるのかわかりやすくなり、
こども食堂に行きたい人は行ける環境を作ることができることを、こども食堂運営者の皆様と
実際に体験しました。

ご参加いただいた方からは以下のような声をいただきました。

「こども食堂(居場所)の情報って、アナログな発信がほとんどな中、
新しい流れにワクワクしました！」

「たくさんの方に知ってもらう、とても意義のある取り組みですね！」



(参考)こども食堂情報のオープンデータ項目一覧

※すべての項目を埋める必要はありません。名称・名称_カナ、開催場所住所のみが必須項目です。

▽xxxxxx_kodomosyokudo_yyyymmdd.xlsx

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	AV	AW
1	NO	都道府県コ	都道府県	市区町村名	名称	名称_カナ	設置目的	実施支援の:	住所	方書	緯度	経度	電話番号1		
2															
3															
4		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		
5															
6															

- ① 都道府県コード又は市町村コード：6桁の市町村コードを**文字列(半角数字)**で入力。 ※半角数字は6桁で記載。桁数に満たない場合は、先頭0埋めとする。
- ② 都道府県名：都道府県名を**文字列**で入力。
- ③ 市区町村名：市区町村名を**文字列**で入力。
- ④ 名称：こども食堂の名称を**文字列**で入力。
- ⑤ 名称_カナ：こども食堂の名称を**文字列(全角カナ)**で記載。
- ⑥ 設置目的：こども食堂の設置目的を**文字列**で入力。
- ⑦ 実施支援の主な区分：食事提供以外にも、実施している支援があれば**文字列**で入力。複数ある場合は、「;」(半角のセミコロン)で区切る。
- ⑧ 住所：こども食堂を実施する住所を**文字列**で入力。 ※記載方法については、政府推奨データセットに準拠。
- ⑨ 方書：こども食堂の住所の方書を**文字列**で入力。



D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	AQ	AR	AS
市区町村名	名称	名称_カナ	設置目的	実施支援の住所	方書	緯度	経度	電話番号1	電話番号1_連絡先	イクアウ	学区	ネットワーク
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑩	⑪	⑫	⑬		⑭	

- ⑩ **緯度**：こども食堂の緯度を**文字列（半角数字）**で入力。※記載方法については、政府推奨データセットに準拠。
- ⑪ **経度**：こども食堂の経度を**文字列（半角数字）**で入力。※記載方法については、政府推奨データセットに準拠。
- ⑫ **電話番号1**：こども食堂の連絡先（電話番号）を**文字列（半角数字）**で入力。※記載方法については、政府推奨データセットに準拠。
- ⑬ **電話番号1_連絡先備考**：電話番号1の担当者名など、連絡先に関する備考を**文字列**で入力。
- ⑭ **学区**：こども食堂の開催場所が該当する学区の学校IDを**文字列（半角数字）**で入力。
A-2. 学校給食献立情報、A-3. 小中学校通学区域情報と共通のIDとする。複数ある場合は、「;」（半角のセミコロン）で区切る。
上記以外の項目については「**項目定義書_こども食堂一覧**」ファイルをご参照ください。

すべての項目を埋める必要はありません。必須項目は「名称」「名称_カナ」「住所」です。
その他の項目については可能な範囲でご入力ください。

